

定例公安委員会の開催状況について

令和2年7月2日（木）に、第19回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 夏山登山における遭難事故防止に向けた取組について

夏山登山における本県警察の遭難防止活動、遭難発生時の対応等について報告があった。

委員のコメント

- 新型コロナウイルス対策が必要な今の時代には、これまでのやり方を見直さなければならぬ。GPSが有効であるようなので、携帯電話を持つように広報してほしい。
- 単独行動が多いようなので、GPSは必要だと思う。アプリを活用すれば位置情報もつかめるようなので、活用を呼びかけてほしい。山岳保険の必要性も広報してほしい。
- 県警へりの出動頻度はどれくらいか。（統計確認後説明）携帯型の充電器を持つよう啓発してほしい。

2 白鷹町地内における非現住建造物等放火事件の検挙について

令和元年12月15日に発生した、白鷹町地内における非現住建造物等放火事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 現場見分で放火の痕跡を明らかにするなど、地道な作業による検挙を評価する。
- 自宅に対する放火であり、それを言い逃れさせないように詰めた捜査を評価する。
- 放火の捜査は立件が難しいと思うが、鑑識作業と供述の矛盾点を追及した捜査がかみ合った検挙として評価する。

3 道路交通法の一部改正について

近年、重大な社会問題となっている「あおり運転」を抑止するために、「あおり運転」を「妨害運転」と規定して罰則を創設し、本年6月30日から施行した旨の報告があった。

委員のコメント

- 高速道路における速度違反は少なくなっているように思う。逆に低速走行車が目立ち、イライラしている車もいるようなので、無謀な運転は取り締まるようにしてほしい。
- 立証のためにはドライブレコーダーが有効だが、上書きされて証拠が消えてしまわないよう啓発が必要だと思う。怒りのコントロールや被害者側にも丁寧な運転を心がけるように広報するなど、対策を進めてほしい。
- 妨害運転の創設は時代の要請だと思う。行為者は20代、30代の若い人が多いと聞くので、免許の講習などで感情のコントロール方法の指導を充実させても良いと思う。抑止効果を期待したい。